

事業名：セラミックアートセンター企画展開催事業

主査（セラミックアートセンター）

政策	05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実							
施策	04 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造							
基本事業	01 自主的市民文化・芸術活動の育成・支援							
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・「やきもののまち江別」を市民間に共有のイメージとして意識してもらうこと、また芸術文化に触れて市民生活を豊かにしていくために、地元江別をはじめ国、道内外の優れた陶芸作品や芸術作品等の文化アートの鑑賞の場として企画展を開催する。
- ・市内関係機関や道内外の美術館・博物館などにポスターやチラシ等を掲示する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・多くの市民（来館者）に利用してもらうことで、「れんがとやきもののまち・江別」のイメージをより広く共有し、市民の文化意識の高揚を図る。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	市民	人	121,705	121,385	120,802	120,802
対象指標2						
活動指標1	企画展開催数	回	2	3	3	3
活動指標2						
成果指標1	企画展入場者数	人	5,315	3,354	1,956	3,000
成果指標2						
事業費(A)		千円	4,283	5,728	2,812	6,945
正職員人件費(B)		千円	4,816	4,810	4,688	5,868
総事業費(A+B)		千円	9,099	10,538	7,500	12,813

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	「モノのココロを伝える風景 サッポロクラフトTAG展」ほか計3回の企画展を実施。	「モノのココロを伝える風景 サッポロクラフトTAG展」開催経費2,498千円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
・やきもの文化振興策の基軸
事業を取り巻く環境変化

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）		
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？		
妥当である 妥当性が低い	理由根拠	・市民への陶芸をはじめとする芸術文化の啓蒙・普及を目指し、よりよい鑑賞の機会の充実を図るために公共的機関がおこなうことが望ましい。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？		
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由根拠	・陶芸文化を中心に広く本市における芸術文化振興の基軸となる。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？		
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由根拠	・25年度の企画展では、やきもの以外の分野（クラフト）を取り上げたが、当館のイメージとしてやきものが強いいため、観覧者数は目標を下回った。今後は、やきもの以外の芸術も観覧できるイメージを定着させることにより、観覧者の増加が期待できる。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由根拠	・企画や運営、広報のあり方を工夫することで可能。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する方法はありませんか？		
ある なし	理由根拠	・単費開催の企画は、市内および道内工芸家を主体としたテーマ設定を行い、工芸家の成果と陶芸を主体とした工芸文化の普及に努める。 ・企画運営を従前のセンター主催事業のみから、市民開放の機会を増やす。それにより、市民の文化活動支援となるとともに、企画経費の削減にもつながると思われる。